

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	にこにこ広場
事業主体 (連絡先)	この街福祉会 児童発達支援センター この街きっず学園 諏訪市大字四賀 388 番 7
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,307,459 円 (うち支援金：932,000 円)

事業内容

- ・市町村の保健師さんや母子通園施設からの要望もあり、発達の気になるお子さんと、その親御さんを対象とした運動遊びと相談支援の事業。
- ・4月～3月の第2・4水曜日、10:00～11:30
年間18回実施。(感染症流行のため、予定より実施回数が減った。)
- ・児童発達支援センターこの街きっず学園 2階にて
- ・運動インストラクター、相談員、保育士、機能訓練士



【親子運動遊びの様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・支援金を活用し、講師を招いての親子運動の充実や、参加する子どもたちに合った遊具や教材等の提供ができた。
- ・周囲に相談できず発達や育児に悩む親御さんに、この街きっず学園という相談できる場所や、人がいるということを知ってもらうきっかけとなっていると感じる。
- ・他と比較せず、個を尊重した関わりを知ってもらうことで、保育園や幼稚園、またはこの街きっず学園などのその子に合った次のステップへと繋げることができた。
- ・参加は平均5組程だった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・親子運動遊びへの参加回数を重ねてもらおう中で、個々の成長など変化していく姿を親御さんと一緒に見守りながら、個々に合った支援を続けていきたい。
- ・参加している親御さんからの相談支援の他にも、電話等での相談にも引き続き対応していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

- ①子育て支援
- ②親御さん(家庭)支援

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・感染症流行時期には、参加者や職員間での蔓延を防止するためにやむおえず中止した。
- ・回を重ねる中で子どもの成長を一緒に確認することができた。
- ・パンフレット等を見て、電話やメールでの相談もあった。